

SUSTAINABLE

DEVELOPMENT

GOALS

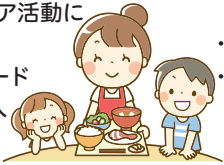
日常の中で誰でも簡単に始められますよ。

取組例



貧困をなくそう

- 子ども食堂や学習支援
- ボランティア活動に参加
- フェアトレード製品を購入する。



飢餓をゼロに

- 消費(賞味)期限が近い食材を購入
- 食べ残さないようにする
- 地産地消への取組



すべての人に健康と福祉を

- 運動の習慣化、食生活の改善など、健康に気をつかう
- 定期的に健康診断、検診を受ける
- 献血の協力
- 禁煙・禁酒をする



質の高い教育をみんなに

- 生涯学習に参加する
- 教材などを必要とする人への寄付



ジェンダー平等を実現しよう

- 偏見や先入観をなくす
- 家事を分担
- 誰もが育児休暇を取得できる環境整備



安全な水とトイレを世界中に

- 節水の取組
- 雨水を有効に使用
- 水に関わる生態系を守る



エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- 電気をこまめに消す(節電)
- クリーンエネルギーの利用
- 公共交通機関の利用
- アイドリングストップ



働きがいも経済成長も

- 働きやすい職場環境づくり
- ワークライフバランスを考えて働く
- テレワークの推進



産業と技術革新の基盤をつくろう

- 新しいことにチャレンジする
- デジタル化の推進
- クラウドファンディングなどで社会貢献事業を応援



人や国の不平等をなくそう

- いじめや差別をしない、させない
- バリアフリーを進める



住み続けられるまちづくりを

- 空き家や古い建物の再利用
- 防災訓練などの地域活動
- 地域活動への参加



つくる責任つかう責任

- 無駄な買い物をしない
- ごみの分別
- マイバック、マイボトル、マイ箸を利用する



気候変動に具体的な対策を

- ペットボトルの回収に協力
- クールビズ、ウォームビズの取組
- 冷暖房の適切な使用



海の豊かさを守ろう

- エコバックの携帯
- 詰め替え商品の購入
- ごみのポイ捨てはしない
- プラスチック製品をなるべく使わないようにする



陸の豊かさを守ろう

- ペーパーレス、オンライン化の推進
- 植物や動物を大切に
- 間伐材を使った製品の使用



平和と公正をすべての人に

- 暴力や体罰をなくす
- 選挙に行くなど積極的に政治に参加する
- 地域の見回り活動に参加



パートナーシップで目標を達成しよう

- ボランティア活動や地域活動に参加
- SDGsについて理解を深める
- SDGs達成に向けて取組む

コクヨ株式会社にも宣言いただきました。

コクヨ株式会社からの宣言内容

自律協働社会の実現に向け、ワクワクする未来のワークとライフをヨコクし、事業を通じて持続可能な社会を牽引していく。

■ 社内外のWell-beingの向上

- 新しい働き方の提案
- ダイバーシティ&インクルージョン&イノベーション

■ 森林経営モデルの実現による事業領域拡大

■ WORK & LIFEの基盤である地球を守るための活動

- 気候危機への対応
- 循環型社会への貢献
- 自然共生社会への貢献

このたび、SDGs宣言をいただいたコクヨ株式会社のCSV事業部サステナビリティ推進室環境ユニット長の齊藤氏と御栗区長が対談を行いました。

コクヨ株式会社は、常日頃より新しい働き方の提案や、森林保護など環境へ配慮した活動を続けておられます。「SDGsは単なる社会貢献ではなく持続可能なものであり、社会価値と経済価値との両立でなければサステナブルとは言えない」との考えのもと、約20年前から国内の間伐材を有効活用し続け、最近は「yuimori」などの新たな木製家具ブランドの開発に力を入れておられるそうです。

齊藤氏：スギ、ヒノキの間伐材を利用するのは様々な加工が必要でその分値段が上がってしまいが、多少値段が高くても原産地がはっきり分かり、長く使えるサステナブルな製品を選んでいただきたい。我々は『つくる責任』を日頃から大切にしているが、消費者の皆さんにも『つかう責任』について考えていただけたら。

御栗区長：大阪・関西万博の開催年であり、東成区の区制100周年にもあたる2025年に向け、今後ますます区内でSDGsを通じた機運醸成を官民一体となって図っていききたい。引き続きご協力いただきたい。

対談後、御栗区長から齊藤氏にSDGs宣言書が手渡されました。

